

## 令和3年度 第1回学校運営協議会

### 1 学校運営協議会資料について

#### (1) 黒石原支援学校の概要

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
非常に見やすく、概要がわかりやすい。		
児童生徒の疾患の割合が詳しく記録され、病気の多様性がわかり、教育の難しさを感じるとともに、先生方の日々の御努力を察することができた。	→	今後とも分かりやすい内容となるよう、工夫いたします。
創立50周年を迎えることにに対し、児童生徒、保護者、職員等すべてが喜び合える式典になるよう祈っている。		
創立40周年の記念式典が記憶に残っている。新型コロナウイルス感染症が早く収束し、落ち着いて式典ができるよう願っている。	→	現在少しずつではありますが、式典に向けての準備を進めている所です。ある程度形が整いましたら、委員の皆様にお知らせいたします。
多様な疾病を持つ児童生徒への対応について、GIGAスクール構想によるICT機器の導入、共生社会に向けた新たな取組など、現場における先生方の負担とご苦勞も増してきているのが現実と推察する。地域社会に開かれた学校環境の充実を期	→	多様化・複雑化する教育環境への対応のため、国は学校と地域との連携・協働を進めています。コロナ禍という難しい状況ではありますが、学校運営協議会の委員の皆様には、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

#### (2) 黒石原支援学校ランドデザイン2021及び令和3年度の重点事項への取組

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
全体が体系化されていてわかりやすい。教職員はもとより、保護者にとっても学校の理念や目標、教職員行動指標など箇条書きされており、理解しやすいと感じ		
令和3年度重点事項への取組については、安心した環境で教育を受けさせることが最も重要だと思うので、この項目を1番目に持って来た点は素晴らしい。		
基本理念を元に、児童生徒一人一人にあった教育を行っていると思う。身に付けさせたい力、校訓、すべてが繋がっている。	→	これまで脈々と受け継がれてきた「共に生きる 愛と共感の教育」の基本理念のもと、時代の変化に対応しながら、外部に対しても分かりやすく本校の教育方針や教育活動を発信できるよう努めて参ります。
コロナ禍の中での効果的な授業や自立活動指導に取り組みながら、生徒たちに「自分らしく・輝く つながる ふみ出す」事を指導していると感じた。今後も継続して欲しい。		
掲げられた理念を実現するためには、学校教育の中でやれることと、さらに未知なる課題に挑戦できるような取組（授業以外の課外）も不定期であってもあるとよい。現在はコロナ禍で難しいが、外部の社会人や講師など地域で活躍する方との交流も共生活動の一環として計画できれば良いと思う。	→	(1) 黒石原支援学校の概要の回答欄でも申し上げましたが、ご指摘のとおり、外部との連携・協働の重要性は高まるばかりです。委員の皆様にはご相談申し上げることもあるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
各家庭や地域、近隣学校との情報共有と協力等がこれまで以上に求められていくと思う。今後も貴校の率先した取り組みに期待する。		
今後は、ウイズコロナからアフターコロナへと、取り組む内容も変わっていくものと思う。	→	コロナ禍がもたらした学校教育におけるほとんど唯一のメリットと言えるのは、ICT機器の導入が大きく進んだことです。重点事項の「①教育環境づくり」の中で今年度加えた項目が「情報のUD化」です。予測困難な時代に児童生徒一人一人の可能性を最大限伸ばすことが出来るよう、新学習指導要領に沿った教育を着実に進めていきます。

## (3) 学校評価計画及び令和3年度学校評価計画表

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
業務効率化を図る事や、年次休暇の取得日数等が具体的に数値化されており目標が分かりやすい。	→	一昨年度に学校運営協議会でご助言を頂き、可能な限り数値化しております。アンケートにつきましては、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしていますが、次年度の改善に向け大いに参考にさせていただきます。
細かく計画されている。アンケート実施があるのも良い。		
個々の教職員の業務負担が重くならないようにして欲しい。特にGIGAスクール構想など、新規の取組における分担と連携が継続には重要課題であると思う。	→	現在、GIGAスクール構想における機器の整備が進んでいる所です。今秋までに無線LANの工事が終わる予定で、そうなるとハード面での整備はほぼ終了です。ハード面での整備と同時並行で、機器の使用法についても、小グループに分けて職員の研修を実施するなどの取組をしてきました。また、週に一度、県の事業でICT支援員が学校を訪問し、様々なサポートをしてもらっています。GIGAスクール構想の目的は、お配りした資料にあるように、「学習活動の充実」「授業の改善」ですが、ICT環境を通じた校務の効率化も想定されています。転換期は労力を伴いますが、ご指摘のとおり分担と連携を通じて、目の前の課題を一つ一つ解決していきたいと思っています。
GIGAスクール構想の実現に向け、職員の研修や取組が過重な負担にならないか心配である。		
コロナ禍の中で、安心して学ぶことが出来る環境づくりに苦勞していると思うが、継続して欲しい。	→	安全安心な環境づくりに向け、根拠をもって対応いたします。

## (4) 各学部の取組

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
各学部コロナ禍の中で、新型コロナウイルス感染症に対する対策をして行事等が実施されていることは良かった。苦勞はあると思うが、学校行事は大切な思い出になるので、今後も開催できることを願っている。		
コロナ禍での無観客での運動会、歓迎会での動画作成など2年目を迎えた創意工夫が見られる。個々の障がいや疾病なども配慮され、きめ細かな教育がなされていると思う。高等部は、自己形成の大きい時期となり、生徒の自立化と対外的な活動による社会参加の準備期として、重要な取組が必要である。11月の高文祭に向けた取組のなかで何か一つでも自信になるものが見つかることを期待する。	→	<p>昨年は、未知の感染症に対しどのような対策が有効なのかほとんど分からず手探りの状態でしたので、多くの学校行事を中止とせざるを得ませんでした。今年は昨年の経験もあり、また、児童生徒の自己肯定感を高めるとともに、一度しかない学校生活の思い出を作りたい、という職員の強い気持ちもあって、可能な限り学校行事を開催していく予定です。</p> <p>写真や感想文は昨年の委員の皆様のご助言を反映いたしました。昨年に続き今回の学校運営協議会も書面開催となりましたので、少しでも学校の様子が伝われば幸いです。</p>
写真や感想文が記載されており、子どもたちの頑張る姿が伝わった。説明も詳細で分かりやすかった。通学や訪問と形はいろいろあっても、子どもたちにとって学校に登校できることや学校行事に参加できることが、体験を増やし、自己肯定感を高めていくことに繋がるとも大事なことだと再認識した。また、子どもたちの病状等については、関係機関との連携が重要だということもよく分かった。新型コロナウイルス感染症の予防対策も含めて、ICTを活用することで、学校の取組が充実されていくことを期待している。		
運動会等を入れ替わり制で行うなど、工夫して学校行事を開催したのは良かった。ICTの推進にも力を入れて欲しい。	→	
各学部とも、創意工夫されている。今後もGIGAスクールの推進による教育環境の整備とともに、県内外を通じた幅広い教育の実践に期待する。		(2)の「黒石原支援学校グランドデザイン2021及び令和3年度の重点事項への取組」でも述べましたが、今回のコロナ禍の数少ないメリットがICT機器の導入とオンラインミーティングの普及です。今年も既に遠隔による交流や研修を実施しています。災い転じて…ではありませんが、このメリットを最大限に生かしたいと考えております。

<p>学校生活を送るうえで、排せつ介助が必要な児童生徒も多いと思うが、どのような配慮をしているか教えて欲しい。</p>	→	<p>対象児童生徒の症状に配慮することはもちろん、支援する前は、必ず本人の意思の確認や言葉掛けをする、同性職員が介助に当たる等、人権への配慮をしています。</p>
---	---	---

(5) 防災関連の取組

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
<p>備品数量チェック表は大変良いが、チェックはいつするのかわからなかった。</p>	→	<p>備蓄品チェックは夏休みと冬休みに行っています。備蓄食のカレーライスがちょうど8月で消費期限が切れるので、1学期終業式に全生徒と職員に配付して備蓄食について考える機会とし、防災教育の一環としました。</p>
<p>日頃から様々な対策が実施されており、危機管理はしっかりしていると思う。実際に災害が起こると焦ってしまうので日頃からの訓練は重要だと思う。災害時児童引き渡しマニュアルでは、役割分担が明確になっており分かりやすい。トランシーバーのメーカーが違うので、持出し時の確認が必要だと思われる。</p>	→	<p>トランシーバーは、Ⅲ課程の職員のみメーカーが異なります。災害時に慌てないように日頃から確認しておきたいと思います。</p>
<p>コロナ禍の中緊急時にどう対応できるかは、訓練も大切だが、職員の連携が一段と重要になると思う。</p>	→	<p>ご指摘のとおりかと思います。定期的に訓練を行うことはなかなか難しいので、日常の様々な場面ととらえて、職員全体の防災意識を高めるよう努めたいと思います。</p>
<p>豪雨災害などもおきている。個々の安否確認はできているので、いざというときに適切に行動ができるように、常日頃の声掛け推奨を進めて欲しい。</p>		
<p>災害時は、できる限り平常心を保ち、冷静な判断を連ねていかなければならない。平常心を保つためには、いざという時を想定した訓練を重ね、経験を積むことが必要である。コロナ禍の今は不可能だが、隣接する施設と合同で訓練等を実施すれば、いざというときの共助の態勢をとりやすいのではないか。</p>	→	<p>合同の訓練は、生徒の状態（体力や病状）等を考えると難しいのではないかと考えられます。隣接する施設からは、防災型コミュニティスクール時に、災害時には協力していただけるとお話をいただいております。</p>
<p>新入生がいるので、毎年訓練を行うのは良い。P22～p31までを含めた防災計画書があれば、より動きやすいのではないか。</p>	→	<p>防災に関連するマニュアルなどは、危機管理マニュアルや経営案に載せております。マニュアルや訓練実施計画等は新年度になり、職員や児童生徒の配置が分かり、児童生徒の実態を把握した後に作成するものもありますので、最新版が全て揃うのが時期的に遅くなるため、現在は作成次第、職員に配付しております。</p>
<p>災害時の引き渡しマニュアルについて、引き取り者の方3名が被災され、また、関係者に連絡が取れないことが起きた場合引き渡しが出来ないため、引き渡しマニュアルにも引き渡しが出来ない場合の対応を記入したらどうか。</p>	→	<p>引き渡しまでは学校で待機となりますので、来年度からその旨マニュアルに記載したいと思います。ご指摘ありがとうございます。</p>

## (6) 本校における新型コロナウイルス感染症対応

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
感染症対応をしながら学校生活の中で、諸行事を工夫して実施していることは大いに評価したい。	→	コロナ禍で様々な制限があり、なかなか先の見通しの立てにくい状況ではありますが、根拠ある対策を講じつつ、ストレスのたまりやすい生活を送る児童生徒が少しでも達成感を得られるよう、可能な限り学校行事は実施したいと考えております。
フローチャートにして纏めて有りとても分かりやすい。細かい部分まで対策を徹底されているので良い。		
日々状況が変化中、職員の日々の努力には頭が下がる。		
検温や健康観察が徹底されているなど感心させられた。		
しっかりとした体制で対応されていることがわかった。予防接種に関する相談等あっているか？マスク越しであったり、距離をとったりでの子どもたちへのコミュニケーションの取り方とかで困ったことはないか？	→	予防接種に関する相談はありませんでした。マスクに関しては、本校では以前からインフルエンザ予防でマスクをすることがありましたので、一般学級ではあまり抵抗がありませんでしたが、コミュニケーション面では、口の形や表情が伝わりにくく、指導上も不便さを感じました。身振りや声、目の表情等、より伝わりやすいように心がけました。距離をとることについては、これまで教師等と密なコミュニケーションをしてきた生徒が、急に距離を取る等の対応が始まったことで、少し戸惑いを感じたようでした。「離れようね」という本人がマイナスに感じる言葉を使わないように配慮しました。また、集団でのコミュニケーションが難しくなりましたので、Zoomのようなオンラインミーティングツールを活用して、集団でのコミュニケーションの経験を積めるようにしました。

## 2 学校危機管理マニュアルについて

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
想定される重要事案に対して、役割分担と対応方法が具体的に書かれているので安心だ。	→	今後も委員の皆様のご助言を得ながら、改善して参ります。
災害時には常に想定外が起きる。訓練は本番、本番は訓練のつもりで臨んで欲しい。緊急時には職員が全て児童生徒に指示を出すことは難しい。難しいとは思いますが、児童生徒が自ら判断し、行動できるよう指導していくことが重要である。	→	避難訓練だけでなく、日頃の授業等様々な場面を通じて命を守ることの重要性を伝えていきます。
保護者との連携確認が一番です。顔写真付きの引き渡しカード、身分証明書があれば、印鑑は廃止して、サインではどうか？	→	今年度、6月に引き渡し訓練を実施しましたが、実施前に印鑑ではなくサインをいただくように変更したところでした。これからはサインとなります。
p7、p8ページがなかった。	→	申し訳ございませんでした。該当のページは4月に校内の担当が確定した後に作成・追加された部分です。今回別紙で送っておりますので、ご確認願います。

## 3 学校経営案について

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
学校のことがよくわかった。	→	今後も委員の皆様のご助言を得ながら、改善して参ります。
しっかりと作り込まれていた。		
立派な経営案である。		

## 4 学校案内について

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
学校の概要がわかりやすく記載されていて読みやすい。	→	今後も、少しでも見やすく、親しみの持てる要覧作成を目指して参ります。
表紙の生徒の笑顔がすばらしい。		
教育課程で「自立活動」を中心とした教育課程と記してあるが、よければ小さくても良いが「自立活動」の説明を入れた方がわかりやすくなると思う。	→	ご指摘のように特別支援教育に馴染みがなければ具体的なイメージを掴みにくい用語だと思います。限られたスペースですが、分かりやすく説明できるよう工夫いたします。

## 5 黒石新聞第1号について

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
写真付きで職員が紹介がされているので、家庭でも顔を覚えやすいと思う。	→	例年、第1号は転入者のみを掲載していましたが、コロナ禍で全職員がマスクをしておりますので、学校に対し少しでも親近感を覚えてもらうよう今回の内容にいたしました。
保護者にとっても役に立つ情報だと思う。今後も継続して作成して欲しい。		
職員の笑顔やポーズの写真入りで好感が持てた。校名の黒石原ではなく「黒石新聞」という名称の由来が知りたい。		

## 6 その他

委員からの感想・意見・質問		意見や質問に対する回答
コロナ禍の中、様々なことが大変だろうが、頑張ってもらいたい。	→	温かな励ましのお言葉ありがとうございます。「(1)黒石原支援学校の概要」の回答でも述べましたが、様々な教育上の課題に対応するために、委員の皆様のご支援をお願いいたします。
現在の状況では学校を訪問することは難しいが、地域の施設として出来るだけ協力したい。		
コロナウイルス感染拡大を防ぐ対策を講じながら、授業や年間行事などを計画・実施することは大変なことだと思う。GIGAスクール構想等新しい教育の流れを感じる一方で、教える側の苦勞も察せられた。		

貴重な御意見ありがとうございました。